



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		・職員でお子さんの課題を共有し、一貫した支援に努めている。 ・日々、支援計画に添って療育しているか振り返りをしながら支援に努めている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		・毎朝行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		・毎日変えたりと工夫している。	・固定化しないように努めているが、安定した支援のために複数回同プログラムが続くこともあるため、様子を確認しながら見直していきたい。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7		・静と動の活動をメリハリをつけて取り組んでいる。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		・毎朝行っている。	・行っているが定着しない部分が多く、打ち合わせ不足を感じるため今後その時間を設けていきたい。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		・それぞれ気づいた点をホワイトボードに書く等して情報共有に努めている。	・今後職員の必要人数が揃ったら適切な時間を確保して行いたい。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		・その日のうちに記録している。	・記録はとっているものの、検証・改善までは至っていないため、今後はつなげていきたい。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2	・支援計画作成者は行っている。	・今後努めていきたい。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		・必ず保健師さんと情報交換している。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		7		・現在医療的ケア児の利用がないため行っていないが看護師がいるため、いつでも連携を図ることは可能である。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		7		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		7		・今後必要なお子さんには行っていきたい。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		7		・今後行っていきたい。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		・連携に努めている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	1	・概ね就園児であるため、各所属園内で交流している。 ・ギフト隣接の保育園で「運動遊び」のプログラムの際にお邪魔することがあり、その際に保育園のお子さんと一緒に遊ぶこともある。	・今後考えていきたい。
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか	6	1	・担当者が参加している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	30	7		・連絡ノートや送迎の際、必要があれば電話で行っている。	
	31	7		・担当者を決め実施している。	・今後どの職員も対応できるよう強化していきたい。
保護者への説明責任等	32	7			
	33	7			
	34	7		・保護者に事業所に出向いて行っている。	
	35		7		・勤務している保護者が多数であるが、父母会の必要も含め検討していく。
	36	7		・契約時や支援計画の説明の際に周知している。また、申し入れがあった時に対応している。	
	37	3	4	・情報発信はインスタグラムで行っている。	・行事予定、連絡体制については発信していきたい。
	38	7			
	39	7			・保護者の方への声掛け等意思の疎通がはかれていない部分もあると感じるため、今後周知していきたい。
非常時等の対応	40		7		・今後検討していく。
	41		7		・策定していないため急遽作成予定
	42		7		・今後行っていきたい。
	43	7		・現在の利用児には服薬やてんかん発作等のこどもを確認している。	
	44	7		・保護者と情報共有し対応している。	
	45		7		・今後作成予定
	46		7		・今後行っていきたい。
47		7		・今後話し合いを十分に行い、必要なお子さんに対しては対応していきたい。	

(様式3)

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 5年 3月 日

事業所名 ギフト

保護者等数(児童数): 11 回収数 :9 割合 81 %

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1			活動している場面をじっくり見たわけではないので、この回答ですみません。		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1		2			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1					見学等で来所された際、実際に見ていただくとともに、説明を行っていきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	1					
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	9						
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1		1	・まだ始めたばかりで分かりません。 ・自分の知識不足です。	今後提示する等、利用児の保護者にわかりやすいよう努めていく。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8			1		振り返り、評価の時間を設け、見学にいらしていただくなどし、実際の療育場面を見られる機会を持つていく。	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	7	1		1		今後も毎日の振り返りの時間を設け、プログラムが固定化しないようにしていく。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7			2		同敷地内に保育園があるため、今後積極的に交流を図っていく。	
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	1						
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	9							

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	4	2		3		行っている。契約後、説明を行うなど周知を図っていく。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	8	1				
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1		1	・お家や園での様子も共有できたらと思っています。 ・都合が悪くて話す時間を確保できていない。	行っている。都合が合わず来所できないご家庭には電話で助言を行っている。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	1	4		就労しているご家庭が多いため、現在のところは考えていない。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9					
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	1		2		今後行っていく予定。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	7	2					
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	4	1	1	3	} 入ったばかりで } 分からない。	
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1		5		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	9					
	23 事業所の支援に満足しているか	8	1			・進学（入学）に向けどのように対応していくことになるのか気になっています。 ・午前、午後と分かれていない、一日見てもらえると助かると思います。 ・進学については定期的に面談を行い、お子さんの様子について共有しながら、途切れることのない継続的な支援を行えるよう、他機関との連携をとりながら進めています。 ・現在ギフトを利用しているお子さんは幼・保いずれかの園に所属している状況です。就学时、集団生活を送ることを考慮し、午前、もしくは午後は所属園で過ごすことが大切と考え、療育時間を設定しております。ご理解頂きますようお願いいたします。	

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。